



2017年の安倍総理(当時)の街頭演説の際に、私が司会を務めさせて頂いたことを今でも良く覚えています。安倍総理(当時)から「志に向かって頑張ってください。」と励ましのお言葉を頂戴したことが、私の「この国を良くしたい」という強い信念となっています。心からの感謝を込めてご冥福をお祈り申し上げます。

日本を守る。未来を創る。

中川たかもとの考え方

毅然とした外交・安全保障

大前提は、毅然とした外交だと考えます。国際法のルールを犯すロシアのウクライナ侵略に対しては、「力による一方的な現状変更は断じて許さない」、「ルール違反には高い代償が伴う」という強い意思を、G7をはじめとする国際社会と一致して示し、かつ「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて日米同盟を基軸に各国との連

携を深めていくことが重要だと考えます。また、「ウクライナは明日の東アジアかもしれない」という危機感を持つことが大切だと思います。政府も本年末までに新たな、国家安全保障戦略を策定し、我が国自身の防衛力を5年以内に抜本的に強化するとともに、日米同盟の抑止力・対処力を一層強化することを掲げているところです。



アフターコロナの経済・賃金対策

アフターコロナの経済対策

新型コロナウイルスの感染者が急増し、第7波への突入が心配されているところで、私は市会議員時代にコロナ対策本部長として培った経験を生かし、大都市名古屋の感染を抑えるために感染症法、特措法の改正やワクチン供給等の運用面や財源問題などを一体として見直すことの必要性を提言してい

るところです。また、感染抑止と社会・経済活動の両立も図っていかなければなりません。治療薬や国産ワクチンの確保、医療提供体制の充実など、警戒を維持しつつ、アフターコロナの社会に向け、観光、交通事業、飲食業をはじめ、暮らしや事業の立て直しを支援していきたいと考えます。

賃金対策

これからの経済成長への戦略、そして、賃金対策については「成長も分配も」、「官も民も」、「市場も国家も」、総力を結集して取り組む必要があると考えます。例えばスタートアップ、新規事業の立ち上げ資金を援助し、新たな産業を生み出し、同時に、同一労働同一賃金、

男女間の賃金格差の是正、最低賃金の引き上げ、賃上げを促す税制など賃金対策を徹底することが必要不可欠だと考えます。成長あっての分配、分配あっての成長、が基本的な考え方です。



ともに歩きましょう

未来のために一歩ずつ

衆議院議員

自民党

千種区・守山区・名東区



中川
たかもと
貴元

国政レポート
vol.9

強力で機動的な原油高・物価高対策

ウクライナが戦火に包まれ原油価格が上昇、日本経済へ大きな影響を与えていきます。日本の物価上昇は、ほとんどがエネルギーと食料品価格の上昇です。日本だけではなく、ウクライナ侵略が世界各国で国民の懐を直撃しています。まさにロシアによる価格高騰、有事の価格高騰です。すでに補助金の投入でガソリンなどの燃油価格の急上昇を抑えており、2月以降の物価上昇も他の主要国と比べ、4分の1ほどに収まっています。今後も電気代の負担軽減やパンや麺類などの食料品、飼料価格の抑制など、物価、景気

両面の対策に取り組んでいくことが必要だと考えます。



岸田総理

大学の大先輩となります。
早稲田大学卒業の自民党国會議員で構成する「稻門会」において様々な議論も行われます。



すべての世代が安心できる社会保障

少子高齢化が進む中で、不安を感じるという声をよく伺います。さらなる社会保障制度の充実を図る必要があると考えます。年金・医療・介護。すべての世代が安心できる持続可能な社会保障を築き、人にやさしい、安心して暮らせる社会を



創る必要があります。出産育児一時金を大幅に増額するなど、結婚・出産、そして子育て世代への支援も加速することが必要だと考えます。

すべての国民の皆さまが安心できる社会保障の再構築に取り組みます。



佐藤正久元外務副大臣

「ヒゲの隊長」佐藤正久元外務副大臣と日本の防衛問題について議論をさせて頂いております。



野田聖子こども政策担当大臣

名古屋駅で藤川政人参議院議員の街頭活動でした。
日本の重要な課題である人口減少問題や少子化、子育て問題に一緒に取り組んでいます。

新しい“国のかたち”を創る憲法改正

国民の皆さんとともに憲法を議論し、必要な改正を行い、国民の皆さまの手で新しい“国のかたち”を創るべきだと思います。改正の必要性を丁寧に説明し、国会提案・発議を行い、国民投票で判断を仰ぐべきだと思います。憲法改正の主役はあくまで国民の皆さんであり、まずは議論をする環境を整えることが必要だと考えます。

令和4年（2022年）7月13日（水曜日）

LIBERAL&DEMOCRATIC



小渕優子自民党组织運動本部長

故小渕恵三元内閣総理大臣は大学の大先輩にあたり、ご指導を頂いてまいりました。「宿命に生まれ 運命に挑み 使命に燃える」は私の大好きな言葉です。



(昭和30年6月15日第三種郵便物認可) 号外 (9)

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-910
東京都千代田区永田町 1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価 1部 110円(税込み)
(毎週火曜日発行)

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

